様々な人とのつながりの中で育つ力

１０月号
時保育園

運動会に向けての取り組みや、人前で発表する機会に向けての太鼓練習等を通して、子どもたちは様々な活動に意欲的に取り組み、心も体も大きく成長しています。経験を重ねる中で、体を動かす楽しさだけでなく、友達と力を合わせることや、最後まであきらめずに、頑張る姿が見られるようになってきました。

【太鼓演奏】　～地域行事　4,5歳児の演奏を通して～

❸協同性　❺社会生活との関わり　❻思考力の芽生え　❿豊かな感性と表現

伝統のある“くまさか太鼓”に取り組む中で、❸子どもたちは、友達と拍を感じながら音を合わせることの大切さや、❻どのように叩くとよいかを考えながら練習し、演奏を作り上げてきました。今まで練習してきた成果を❺敬老会で披露し、拍手をいただいたことで、子どもたちの自信につながっています。今後も❺「もんでこかみいしづ」「時地区文化祭」で披露する機会があります。❿赤組の子は、太鼓を叩くお兄さん、お姉さんの姿にあこがれをもち、指で太鼓を叩く真似をし始めました。伝統のある“くまさか太鼓”が自然に受け継がれていることを実感しています。





【ヤギさん　元気かな？】～地域とのつながり～

❺社会生活との関わり　❼自然との関わり・生命の尊重　❾言葉による伝え合い

地域にいるヤギを見に行きました。子ヤギの“ゆきちゃんとむぎくん”その日は、むぎくんが座り込んでいて、元気がありませんでした。❾「風邪ひいたのかな」「熱があるかもよ」と話し、子どもたちは心配をしていました。次の日、ヤギの小屋の近くを通りかかった時、❺お世話をしているお兄さんを見かけた子どもたちは、❼とっさに「むぎくん　元気になった？」と聞きました。「昨日より　元気になったよ」と、お兄さんが教えてくれて、「よかった～また、見に行くね」と、安心していました。先日、むぎくんを見に行った時は、元気になって草をモグモグ食べていて、皆で喜び合いました。



【チームで頑張ろう！】　～友達とのつながりが頑張る力に～

❸協同性　❻思考力の芽生え　❾言葉による伝え合い

運動会に向けての取り組みの中で、異年齢混合チームに分かれて競い合う機会がありました。初めは、一人一人がゴールをすることで精一杯でしたが、何度か競技を経験する中で、お互いを応援し合う声が増え始め❾「どうすると勝てるのか」を考え、話し合う姿も出てきました。“スイカの名産地？”（競技）では、❸スイカ（ダンボール）を積む時に、声を掛け合い「大きいスイカあと１つ」「小さいスイカここにあるよ！」と、伝え合う姿が出てきました。“速すぎて滅!!つなげバトン!!”（4,5 歳リレー）では、❻勝負に勝つためには、誰とチームを組むか、走る順番やアンカーは誰にするのか…など、子ども同士で話し合い、勝負に挑む姿が増えました。悔しさや嬉しさを積み重ね❸子ども同士の中で、お互いを応援する姿が自然と増え、盛り上がっていきました。勝負する体験から、様々な心の葛藤を経験し、成長した子どもたちです。





【ポストに投函】　～地域の郵便局とのつながり～

❺社会生活との関わり　❻思考力の芽生え　❾言葉による伝え合い

封書を投函しに郵便局に行きました。そこで、❺郵便局の局長さんがポストについて教えてくださいました。❻局長さんからの質問「ポストは世界の入口です。では、ここから一番遠いポストは、どこでしょう？」の問いに、子どもたちは「アメリカ？」保育者は「ブラジル？」と答えますが、どこも違っていました。「答えは、南極です!!」答えを聞いた子どもたちは、「すごーい!!」と驚いていました。それ以後、❾散歩の際にポストを見かけると、子ども同士で「世界の入口見つけた」と言い合い、ポスト探しを楽しんでいます。



